

医療搬送用ヘリコプターの事故を受けた
関西広域連合管内ドクターヘリの点検・検査について



関西広域連合

令和 7 年 5 月 29 日
広域医療局

1 経緯

令和 7 年 4 月 6 日、長崎県壱岐島沖で医療搬送用ヘリコプター（ユーロコプター式 EC135T2+型）が、患者搬送のため飛行中、海上に不時着水し、搭乗者 6 名中 3 名が死亡し 3 名が負傷した。

事故調査を行っている運輸安全委員会や欧州航空安全庁（EASA）からの情報提供等を受け、国土交通省から事故機と同系列型の機体の所有者に対して点検・検査を求める耐空性改善通報が発行（5 月 2 日及び 5 月 9 日）されたため、これに基づき点検・検査を実施している。

※事故原因については、運輸安全委員会において調査中

2 国土交通省からの指示事項と対応状況

発行日	国土交通省からの指示事項 (点検・検査内容)	対応状況 (R7, 5, 22 時点)
5/2	●「テール・ローター・コントロール・ロッド」の点検及び必要に応じ交換（※） ※点検根拠 運輸安全委員会からの情報提供による ※実施時期 次の飛行時まで	○点検対象 関西広域連合管内の 8 機全て ○点検実施日 5 月 3 日 ○点検結果 8 機全て点検箇所「問題なし」 《補足》 うち 1 機（3 府県ヘリ）は点検箇所以外の部品交換を実施
5/9	●「コントロール・ロッド」前方部の非破壊検査及び「テール・ローター操縦系統」の接合部の検査等（※） ※検査根拠 メーカー（エアバス社）からの点検速報及び欧州航空安全庁（EASA）からの耐空性改善通知による ※実施時期 50 飛行時間又は 3 ヶ月を越えない時期まで	○検査対象 関西広域連合管内の 6 機 ※兵庫県及び大阪府で使用中のヘリ 2 機については、型式等が異なるため検査対象外 ○検査実施状況 外部機関での検査が必要なため 検査日程を調整中

（※）点検箇所等は、別添の国土交通省からの耐空性改善通報「別紙 2」参照

○加えて、運航委託先において、国土交通省からの指示事項以外に、自主点検・検査を計画しており、5/22 までに 2 機の点検を実施（問題なし）。残り 6 機についても順次実施

3 今後の対応

運輸安全委員会の動向を注視するとともに、定められた時期までに国の耐空性改善通報に基づく点検・検査を実施するほか、運航委託先において、自主点検等も行い、ドクターヘリの安全運航を徹底して参る。

令和 7 年 5 月 9 日
航空局安全部航空機安全課

エス・ジー・シー佐賀航空（株）のヘリコプターの航空事故を受けた 同系列型機に対する検査指示について

国土交通省は、4月6日に発生したエス・ジー・シー佐賀航空（株）のヘリコプターの航空事故に関し、5月2日に耐空性改善通報を発行し、「コントロール・ロッド」の前方部の点検等を行うよう求めてきました。

昨日（現地時間）、設計当局である欧州航空安全庁（EASA）より、「コントロール・ロッド」の前方部の非破壊検査及びテール・ローター操縦系統の接合部の検査等を求める耐空性改善命令が発行されたことを受け、国土交通省としても、本日付けで新たな耐空性改善通報を発行し、対象となる機体の所有者に対し、同内容の措置を追加して行うよう求めました。

○耐空性改善通報（別紙１）の概要

（１）対象

エアバス・ヘリコプターズ（ユーロコプター）式 EC135 系列型航空機^{（注）}（合計 69 機）

（注） EC135 系列型のうち、製造番号が 0001～1999 までのもの

（２）実施すべき措置の内容

- ・ 別紙 2 の部位について検査を行い、不具合が発見された場合は交換
- ・ メーカー及び航空局への検査結果の報告

（３）検査の実施時期

50 飛行時間又は 3 ヶ月を超えない時期まで

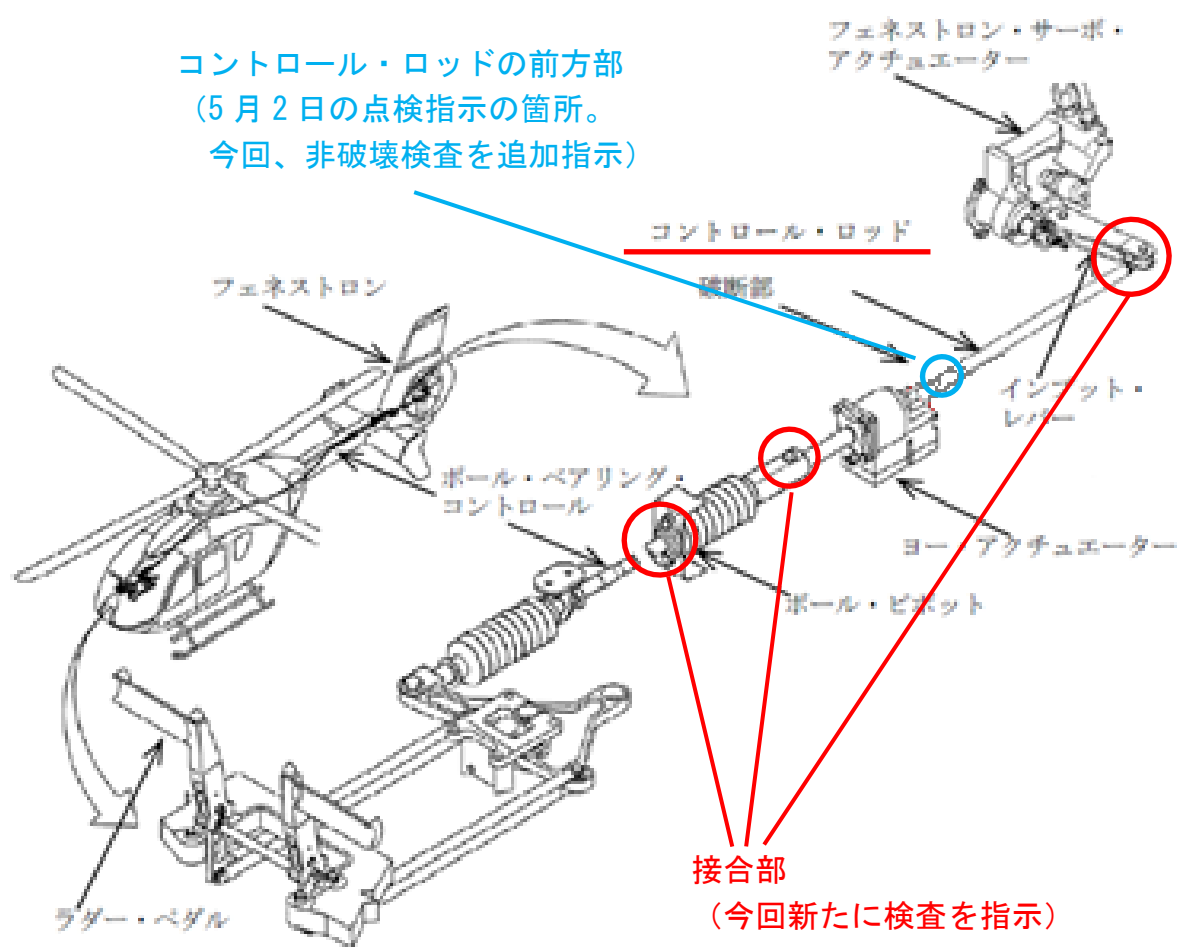
<問合せ先>

航空局安全部航空機安全課 浦野、繁永

TEL : 03-5253-8111（内線 50202、50206）、03-5253-8735（直通）



検査の部位



関西広域連合及び近隣地域における『ドクターヘリの機種状況』

